

*: ° ☆。 , *: ★。 , *: ° ☆。 , *: ° 。 , *: ° ☆。 , *: ★。 , *: °



みらいっうしん

9月号

2026年9月1日
田園調布学園大学
みらいこども園
園長 勝浦 芳子

*: ° ☆。 , *: ★。 , *: ° ☆。 , *: ° 。 , *: ° ☆。 , *: ★。 , *: °



【みらいこども園の魅力】

いよいよ2学期が始まりました。9月は、残暑、台風など、気象状態の乱れから災害が起きやすいので、お子さんの送り迎えについても十分お気を付けください。また、園でも、お子さんの安全については、細かく配慮して保育を進めてまいります。

さて、お子さんの様子を見ますと、夏に体験した思い出を子ども達同志が嬉しそうに話している姿に、楽しかった思い出とたくさんの学びが得られたのだと、一回り成長した子ども達に再会できてとても嬉しく思います。職員もこの期間に、多くの研修に参加し、子ども達の為により良い保育について学んできました。2学期は、行事も多くお子さんの成長を著しく感じられる学期ですので、大いに学んだことを保育に生かしていきたいと思ひます。

8月は、小学校の先生、高校生、他の保育園の先生、田園調布学園大学の学生、台湾からの留学生等、たくさんの方々が見学と保育体験をしていかれました。それぞれに感想を聞いてみると、「こども園の子ども達は楽しそうですね」「やりたいことを実現させようと、みんな一生懸命物事に向き合っている」「子どもの好きな遊びが見つかる環境が整っている」「自分の考えをどの子も持っていて発信しようとしている」「子ども自身が考えて行動している」「生きる力が身についている」「積極的に来客者に関わろうとしていてこちらにも楽しい気分になる」「人と関わる力が育っている」など、好感度はみな良いものでした。みらいこども園は、常に、子ども一人一人の良さを認めながら、保育者がどうか関わっていくかを大切に子ども自らが選択できる環境づくりに力を入れています。こうして、外部の方が、保育を体験し評価していただいたことは、何よりも保育者の励みになり活力にます。まだまだ、子ども達へのアプローチや環境については、努力していかなくてはならないことがたくさんありますが、1つ1つ、子ども達の様子を観察し、子ども達がこの先、たくさんの人と関わりながら、どんな困難が訪れようとも、自信をもって切り開いていけるよう人間形成の基礎づくりを頑張っていきたいと思ひます。子ども達の成長は、周りの大人のまなざしと対応が不可欠です。保護者の皆様と連絡を密にして、さらなる教育・保育を目指していきたいと思ひます。今後ともご理解とご協力をお願いいたします。